

マルチディシプリナリーアプローチ 14日間コース



詳細・お申込み▲

Course Director/Instructor



渡辺 隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
Takei-KAWAZU STUDY CLUB会長
いづな総合歯顎研究会 (ITDC) 主宰

Instructor



上濱 正

Akira Uehama

ウエハマ歯科医院 院長
明海大学歯学部臨床教授
朝日大学歯学部客員教授
日本歯科大学生命歯学部
客員教授
日本顎咬合学会 元理事長・指導医
日本補綴歯科学会 専門医・指導医
日本臨床歯周病学会 認定医



貞光 謙一郎

Kenichiro Sadamitsu

貞光歯科医院院長
日本顎咬合学会・指導医
日本審美歯科学会・認定医
日本臨床歯科学会 Fellow
朝日大学非常勤講師



龍田 恒康

Tsuneyasu Tatsuta

明海大学歯学部
病態診断治療学講座
口腔顎顔面外科学分野
教授



辰巳 順一

Junichi Tatsumi

朝日大学歯学部
口腔感染医療学講座
歯周病学分野教授
日本歯周病学会
専門医・指導医
日本顎咬合学会指導医



林 丈一郎

Joichiro Hayashi

明海大学歯学部
口腔生物再生医学工学講座
歯周病学分野教授
日本歯周病学会
指導医・専門医



平井 順

Jun Hirai

平井歯科院長
歯学博士
元日本大学客員教授
明海大学歯学部臨床教授
国際歯科学士会日本部会監事
米国歯内療法学会(AAE)
アクティブメンバー
米国歯周病学会(AAP)会員
日本顎咬合学会 認定医・指導医
日本歯内療法学会 専門医・指導医



松崎 浩成

Hiroshige Matsuzaki

松崎歯科院長
日本顎咬合学会
副理事長・指導医
Takei-KAWAZU STUDY CLUB
会員
いづな総合歯顎研究会 (ITDC)
会長



宮崎 真至

Masashi Miyazaki

日本大学歯学部
保存学教室修復学講座教授
日本審美歯科学会理事
日本接着歯学会理事
日本歯科保存学会理事
日本歯科理工学会代議員

パッケージコース(一括受講)

主な認定制度

【パッケージコース番号:16250300】

¥600,000

日本歯科医師会認定研修会

明海大学「歯科総合医」認定研修会

一口腔単位の質の高い治療を実現するには、様々な角度から症例を分析し、多彩な治療の選択肢を持って治療に当たらなくてはなりません。それが、マルチディシプリナリーアプローチです。

本コースは、歯内療法・歯周治療・保存修復・クラウンブリッジ・有床義歯・口腔外科・部分矯正・デジタルデンティストリーなどの各分野をバランスよく学ぶことのできる、実践型の臨床コースです。

各セクションにおいては、講義と実習を交互に行うことで、理解を深め、確実に臨床応用できるように工夫されています。

また、パッケージ受講(全てのセクションを受講)することで、治療計画からメンテナンスまで、一口腔単位で治療を行うための一連の流れを理解することができます。症例発表を通じて、症例をまとめる力が身に付きます。

紹介動画を見る▶



プログラム内容

マルチディシプリナリーアプローチ1・2(保存修復コース) カリオロジーとMI修復

講師/宮崎 真至

マルチディシプリナリーアプローチ3・4(歯周コース) 歯周外科手術の基本とフラップ手術

講師/渡辺 隆史・辰巳 順一・林 丈一朗

マルチディシプリナリーアプローチ5・6(矯正・外科コース) MTMの実際－アップライトとエクストルージョン－

講師/渡辺 隆史・松崎 浩成

マルチディシプリナリーアプローチ7・8(歯内療法コース) EBMに基づいた効率的な3次元的根管形成、充填 －歯内療法を見直す－

講師/平井 順

マルチディシプリナリーアプローチ9・10(補綴コース) 精度を追求した補綴治療－クラウンブリッジの勘所－

講師/渡辺 隆史

マルチディシプリナリーアプローチ11・12(補綴コース) 人生100年時代における有床義歯補綴治療

講師/上演 正

マルチディシプリナリーアプローチ13・14(補綴コース) 包括的治療の進め方

－デジタル化した次世代のフルマウス治療－

講師/貞光 謙一郎

パッケージコース対象特別講座

マルチディシプリナリーアプローチのすべてのコースをお申込みされた場合、「オリエンテーション」及び「まとめ」をZoomによるWEBセミナーにて参加できます。【参加費無料】

【オリエンテーション】 WEB配信

診査診断治療計画:戦略的治療計画

－全身単位で診たトリートメントプランの組み立てかた－

講師: 渡辺 隆史・龍田 恒康

日時: 2025年5月28日(水) 19:30~21:00

2025年6月4日(水) 19:30~21:00

■本コースのオリエンテーション

14日間の全体の流れについて解説します。

■基本的な資料収集法と診査・診断治療計画

■診査から導き出された診断を治療計画にどのように活かしたら良いか、治療計画の立案方法についても解説します。

■ケースプレゼンテーションの方法

本コースを通じてケースプレゼンテーションができるようにします。

【まとめ】予防とメンテナンス WEB配信

講師: 渡辺 隆史・龍田 恒康

日時: 2026年2月19日(木) 19:30~22:00

2026年2月26日(木) 19:30~21:00

■本コースのまとめについて解説します。

■健康を取り戻した口腔環境を永続的に維持するための予防とメンテナンスについて解説します。

■う蝕や歯周病に対するリスク管理をどのように行い、院内システムとしての構築をしたらよいかを解説します。

■症例ディスカッションを通して日常の臨床における疑問解消を目指します。

■ケースプレゼンテーション

1 症例発表することによりマルチディシプリナリーアプローチの修了証書を発行します。



詳細・お申込み▲

定員：15名
日時：2日間
2025年7月5日(土) 10:00～17:00
2025年7月6日(日) 10:00～16:00

会場：東京・新宿区
明海大学・朝日大学サテライトキャンパス
明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター
受講料：¥100,000

齲蝕のマネージャーとしてのカリオロジーという学問は、これまでの知識の蓄積によって確立されたものとなりつつあります。齲蝕が減少したとはいえ、その予防に対する取り組みは今後とも重要なものとなるはず。一方、コンポジットレジン修復においてはレジンペーストの取り扱いである充填テクニックの習得も重要になります。頭で理解することが求められることもありますが充填テクニックの実際は、ハンズオンセミナーを通じて習得する必要があると考えられます。それによってコンポジットレジン修復がさらに楽しくなり、患者さんの喜ぶ診療につながるのです。

本コースを受講することで、総合的なカリオロジーの理解とともに、コンポジットレジン修復の手技の基本とともに応用法を理解できるものと確信しています。少人数であるからこそ、密度の高い学びの場が形成されるとともに、それだけ強い刺激をもたらすセミナーとなるはず。です。



宮崎 真至
Masashi Miyazaki

- 今日の歯科診療に欠くことができないものの習得
- 総合的なカリオロジーの理解
- コンポジットレジン修復の手技の基本、応用法の理解
- 明日からの臨床に役立つヒントを得られる⇒臨床に反映できる知識とテクニックを身に付ける



学習効果

- 最新の歯科材料の使用方法を学ぶことができます。

講義 (Lecture)

1. これからのレジン充填とは
2. 歯質接着の実践的理論—納得の接着技術
3. コンポジットレジンの選択基準
4. 歯内歯周病変への対応
5. 動画によるケースプレゼンテーションで、充填のコツを知る



実習 (Hands on)

1. 齲蝕の除去と修復処置
2. Class I およびII 修復
3. ダイレクトベニア修復
4. シリコンガイドを用いたClassIV修復
5. 上顎前歯ワンユニットブリッジ





詳細・お申込み▲

定員: 15名

日時: 2日間

2025年6月28日(土) 10:00~17:00

2025年6月29日(日) 9:00~16:00

会場: 千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

受講料: ¥100,000

中等度以上の歯周炎患者の治療において、避けて通れない外科的療法や根分岐部病変の治療について、その基本知識と手術手技の基本を会得します。

本コースには下記の内容が含まれます。

- 1) 歯周外科総論・解剖学・器具 (講義・デモ)
- 2) 縫合の基本 (講義・デモ・実習)
- 3) 組織付着療法(アクセスフラップ手術) (講義・デモ・実習)
- 4) 切除療法(切除型フラップ手術) (講義・デモ・実習)
- 5) 根分岐部病変のデブライドメント (講義・デモ・実習)
- 6) 咬合治療(歯周病患者の咬合管理) (講義)

歯周外科処置を自院で実施するために必要な知識、準備、器具の使用法、手術のポイント、術後管理、さらには歯周病患者の咬合管理をいつどのように行うかを具体的に研修します。

見て、触れて、行うことで、先生が歯周外科処置を実践できるようにする研修会です。

- 歯周外科処置に必要な器具・縫合・手技の基本がしっかり学べます。
- それぞれの症例でどのような歯周外科処置を選択すればよいのか理解できます。
- (治療効果が目に見える) 歯周外科処置成功のポイント・テクニックが学べます。



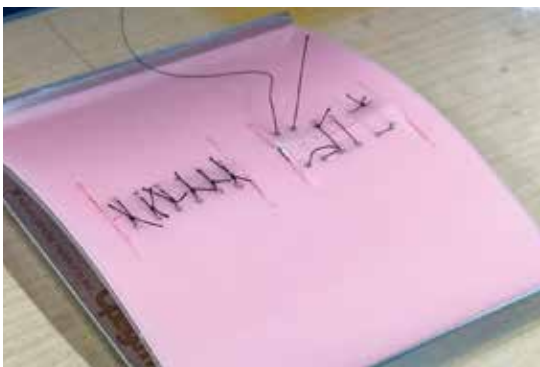
渡辺 隆史
Takashi Watanabe



辰巳 順一
Junichi Tatsumi



林 丈一郎
Joichiro Hayashi





詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2日間

2025年8月2日(土) 10:00～17:00

2025年8月3日(日) 9:00～16:00

会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

受講料：¥100,000

咬合崩壊は大白歯の欠損放置から始まります。近心傾斜した大白歯の歯軸をアップライトするだけで、治療の予後は格段によくなります。また、審美エリアでは矯正的な歯根の挺出が必要になる場面に多く遭遇します。

本コースでは2日間で、大白歯のアップライトと上顎前歯のエクストルージョンができるスキルを身につけます。

また、矯正治療をする上で必要な矯正診断に関して、最低限必要なセファロ分析と模型分析について解説と実習を行います。簡単な矯正診断の知識を得ることで、MTMを行う際の理解が深まります。

さらに時間が許す限り、下顎前歯の圧下装置である、ユーティリティアーチについて解説と実習を行う予定です。

- 下顎第二大臼歯の近心傾斜を放置するリスクとその改善方法を解説します。
- 近心傾斜した下顎第二大臼歯のアップライトの手法を実習を交えて解説します。
- 部分矯正に必要な矯正器材について解説します。
- 歯の移動のメカニクスと部分矯正に必要な矯正器材について解説します。
- 前歯のエクストルージョン(矯正的牽引)についてその目的を解説します。
- 前歯エクストルージョンの手法を実習を交えて解説します。
- インプラントサイトマネジメントとしてのエクストルージョンの手法について詳しく解説します。
- MTMに必要な側方セファロ分析の簡単な解説と実習を行います。
- MTMに必要な模型分析について簡単な解説と実習を行います。
- 下顎前歯の挺出(病的移動)に関して、その診断と改善方法を解説します。
- 挺出した下顎前歯を圧下するための装置であるベーシックユーティリティアーチの実習を行います(予定)。



学習効果

- MTMの基本であるアップライトとエクストルージョンを臨床に応用できるようになります。
- MTMに必要なメカニクスと器材について理解が深まります。
- 治療の選択肢が増えます。
- 治療の難易度がわかるようになります。

講義 (Lecture)

1. 一般臨床に必要な矯正治療の要点
2. 矯正治療の基本
3. MTMの分類と適応症
4. MTMに必要な器材
5. ワイヤーベンディングの基本
6. ブラケットポジショニング
7. アップライトのメカニクス
8. エクストルージョンのメカニクス
9. 基本的な側方セファロトレースと分析
10. 基本的な模型分析
11. 下顎前歯の圧下のメカニクス

実習 (Hands on)

1. ワイヤーベンディングの基本
2. ブラケットボンディング
3. アップライトセクション
4. エクストルージョンセクション
5. 側方セファロトレース
6. 模型分析
7. ベーシックユーティリティアーチ



紹介動画を見る▲



渡辺 隆史
Takashi Watanabe



松崎 浩成
Hiroshige Matsuzaki



詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2日間

2025年9月27日(土) 10:00～17:00

2025年9月28日(日) 9:00～16:00

会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

受講料：¥100,000

JH Endo Systemとは、1985年に私が考案したJHエンドシステムは歯内療法を成功させ、長期間安定した予後を実現させるため、臨床の中で追及を重ねそれを可能にしたシステムです。

根管は大なり小なり特に根尖部において彎曲しています。術式はこの形態に合わせるためにステンレスの手用ファイルを用いて彎曲根管形成を可能にしました。同時にrecapitulation(再帰ファイリング)による根尖孔の清掃を行いながら、ステンレスの手用ファイルとエアスケラーを用いて根管内壁拡大形成を行うため、よく問題視されるsmear layer(スメヤ層)が形成されにくく、術後の歯根膜炎や疼痛も起こしません。そのため根管充填の時期が時短化され、その後すぐにそのまま補綴処置へ移行できるといった極めて画期的かつ臨床的な方法です。

step by stepにてマンツーマンによるトレーニングコースです。

- 患者様からの信頼を獲得し、その後の治療をスムーズに進行させるため、痛みの無い根管治療の実践は重要
- 歯内療法は「難しい」、「わからない」といわれる原因のひとつ、根管が「肉眼で確認できない」ことを克服
- 肉眼で確認しづらい根管系を3次元的に捉え、オリジナルの根管系を保持した根管形成が可能になれば、歯内療法を成功させることは決して難しくありません。
- 歯内療法のEBMを踏まえ、良好な治療成果を挙げられる「JHエンドシステム」を紹介します。
- 講義およびJH透明根管模型を使用したデモとマンツーマンによる実習を通し、3-D歯内療法を習得し、根管治療の成功に不可欠な「手指の感覚」を身につけていただきます。



学習効果 歯内療法の認識が変わります!

- EBMに基づく歯内疾患の捉え方および歯内疾患と咬合との関連性について学べます。
- 患歯の破折を防ぐための「生体に易しい根管形成法」を体得できます。

講義 (Lecture)

1. 低侵襲歯内療法における臨床
2. 歯内療法と咬合との関連性
3. 歯内治療の基本
4. 根管拡大形成の理想と効率化
5. 根管充填の理想
6. 抜去歯を用いたJHエンドシステムによるデモと解説



実習 (Hands on)

1. JH 透明模型を用いたマンツーマンによる根管治療の実習
2. マンツーマンによる根管充填
(垂直加圧法および側方加圧法)
3. 根管形成法から根管充填までのマンツーマン指導
4. 根管形成法から根管充填までの評価



平井 順
Jun Hirai



詳細・お申込み▲

定員：15名

日時：2日間

2025年10月4日(土) 10:00～17:00

2025年10月5日(日) 9:00～16:00

会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

受講料：¥100,000

補綴治療を行う上で、一本のクラウンやワンスパンのブリッジを適切に装着する技術を持つことがどれほど重要なことか、多くの臨床医は気がついていないはず。高精度なクラウンブリッジが作製できないと、フルマウスリハビリテーションなど、大掛かりな補綴治療に良好な予後を求めることはできません。まずは、機能的な咬合面形態を作り、高精度な咬合接触点を与え、適合精度の高いクラウンを作る技術身につけることが必要です。そのためには、咬合論を正しく理解し、半調節性咬合器を扱うスキルも必要になります。本コースでは、クラウンブリッジに必要な咬合論を理解したうえで、印象から装着まで、高精度な補綴物を作製するための勘所を実習を交えて解説します。



渡辺 隆史
Takashi Watanabe

- 高精度な咬合・高精度な適合を得るための勘所は何か？補綴物の誤差をなくすための要点を解説します。
- 機能的な咬合面形態とはどのようなものか？クラウンブリッジに必要な咬合論とともに解説します。
- 半調節性咬合器をアジャストして扱えるようにします。
- 高精度な咬合調整ができるようになります。
- プロビジョナルレストレーションの作製と調整方法について解説します。
- マージンの適切な位置はどこか？どのような形態で形成すれば適合が良くなるか？プレパレーションデザインとその考え方について解説します。
- 歯肉圧排と精密印象について解説します。
- 補綴物装着時の注意点について解説します。



学習効果

- 適合精度の高いクラウンを作製できるようになります。
- 精密な咬合接触点を与えることができるようになります。
- 半調節性咬合器が扱えるようになります。

講義 (Lecture)

1. 咬合論の理解
2. 半調節性咬合器の使用目的
3. チェックバイト記録の取り方と半調節性咬合器のアジャスト
4. 形成バーの選択と形成手順
5. 誰にでもできる歯肉を傷つけない綺麗な形成方法
6. 機能的な咬合面形態と咬合調整の方法
7. 圧排の方法とタイミング
8. コンタクトポイントの調整方法とクラウンの装着

実習 (Hands on)

1. 咬合面形態の描写
2. カスタムジグを用いたチェックバイト記録
3. 半調節性咬合器のアジャスト
4. フルクラウン形成



紹介動画を見る▲



詳細・お申込み▲

定員: 15名

日時: 2日間

2025年11月15日(土) 10:00~17:00

2025年11月16日(日) 9:00~16:00

会場: 千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

受講料: ¥100,000

人生100年時代を迎えつつありますが、社会環境の変化とともに口腔環境も変化しています。従来の知識・手技では対応できない症例も増加し、患者、術者とも苦悩しているのが現実です。

難症例の解決に特效薬はありません。今までの有床義歯治療を反省し、症例を解析し、分類し原理・原則を再構築することが重要です。そうすることにより現在そして未来の問題が解決し、人生100年時代に満足度が高く、長期に機能する有床義歯補綴治療が可能となります。術者の人生も明るく、楽しく、元気になります。

- 無歯顎患者、部分欠損患者の人生を理解することが機能再建には大切です。
- 片顎部分欠損(1歯から13歯まで)→片側部分欠損+無歯顎→無歯顎までの組み合わせをすることが術者には大切です。
- 局部床義歯、総義歯の区別を超えて人生100歳時代に対応できる有床義歯治療を解説。
- 知識、手技を理解し構築していただくコースです。

上濱 正
Akira Uehama

講義 (Lecture)

1. 無歯顎患者の「原理・原則」
2. 無歯顎患者の過去・現在・未来
3. 100歳時代を元気に、楽しく生き抜いた無歯顎患者から学び、解析し、未来の無歯顎患者補綴治療を構築する
4. 形態的障害、機能的障害を再建するための基本は「臨・基・応・変」
5. 1歯欠損から13歯欠損までの「原理・原則」
6. 三次元構成義歯による機能再建に重要な印象採得と顎間記録採得法
7. 今後増大する未来型全部床義歯・局部床義歯補綴臨床の極意

実習 (Hands on)

1. 無歯顎患者における印象採得の原理・原則の習得
2. 機能的顎間記録採得法
3. 治療用義歯の「一丁目一番地」
4. 1歯～13歯欠損対応部分床義歯の基本である三次元構成義歯の原理・原則の習得
5. 三次元構成義歯を機能させるための粘膜区域・歯牙区域加圧印象採得法
6. 三次元構成義歯の装着・調整・管理など





詳細・お申込み▲

定員: 15名

日時: 2日間

2026年1月24日(土) 10:00~17:00

2026年1月25日(日) 9:00~16:00

会場: 千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

受講料: ¥100,000

口腔内を一口腔単位として検査・診断をおこない治療を施術していくことを心がけ臨床に臨んでいます。先人の先生方が示されたコンセプトのもとで治療計画を立案し、最終的な治療ゴールを定めることにより治療の流れを明確にしていくことが可能となります。また歯科治療のデジタル化により術者の経験値に頼るだけでなく客観的な基準により治療を進めることができるようになってきました。一歯単位の治療ではなく一口腔を包括的に観察し分析、治療方針の立案ができるようにお話が出来たらと思います。

- 歯科治療のデジタル化による客観的な基準
- 客観的な基準による治療の進め方
- デジタルを用いることによる診査・判断力の向上を目指す。

貞光 謙一郎
Kenichiro Sadamitsu

講義 (Lecture)

1. 包括的治療の要件(口腔内観察の手法)
2. 資料採得・デジタル化に伴う資料採得
3. 咬合分析と治療計画の立案
4. 包括的治療のSTEP BY STEP
5. デジタルデンティストリーを目指して

実習 (Hands on)

1. 咬合器のハンドリング
2. 口腔内スキャナー実習(形成)

